

(仮称) 新潟都心民有地緑化ガイドライン  
(素案)

新 潟 市

令和5年2月



# まちなかにもっと緑を増やしていきたい

## —新潟都心民有地緑化ガイドラインについて—



新潟市は、多彩な水辺や里山といった自然豊かな田園地域を有し、「都市と田園の調和」が大きな強みとなっていますが、一方で、都心部の緑が不足しています。

都心部の緑を増やすためには、道路や公園といった公有地だけでなく、民有地においても、敷地の空きスペースや建築物の壁面、屋上など、限られた空間を最大限に活かして緑化を進めることが必要であると考えます。

このガイドラインは、「新潟都心地域緑化重点地区」の民有地において、市民や事業者の皆様に緑化に取り組んでいただく際のポイントや、市の助成・支援制度についてとりまとめたものです。

緑とにぎわいがあふれるまちの実現に向けて、ぜひこのガイドラインをご活用いただき、緑化にご協力ください。



# もくじ

## 1. 緑あふれるまちなかを目指して

- (1) 本市の都心まちづくり . . . . . p. 1
- (2) まちなかの緑が目指す姿 . . . . . p. 2

## 2. 緑を取り入れる方法

- (1) 目に入る緑を配置する . . . . . p. 3
- (2) 緑化の方法とポイント . . . . . p. 4
  - ・ 1) 小さなスペースを使った緑がまちを華やかに
  - ・ 2) 壁面緑化で建築物をまちのシンボルに
  - ・ 3) 心地よい木陰や花壇が、居心地の良いまちをつくる
  - ・ 4) 屋上緑化で緑の空間を生み出す
- (3) 美しい緑を保つために . . . . . p.13

## 3. 市の助成・支援制度

- (1) 民有地緑化助成制度 . . . . . p.15
- (2) そのほかの支援制度 . . . . . p.20
  - ・ 緑化活動推進事業
  - ・ フラワーパートナー事業
  - ・ 保存樹等の指定

### 持続可能な社会の実現に向けて

まちなかの緑化は、SDGs（持続可能な開発目標）のうち、「目標 11 住み続けられるまちづくりを」、「目標 13 気候変動に具体的な対策を」等に寄与する取組です。





# 1. 緑あふれるまちなかを目指して

## (1) 本市の都心のまちづくり

本市では、新潟駅から萬代橋、古町までをつなぐ区域を「にいがた2 k m」と名付け、官民連携による都心部のまちづくりに取り組んでいます。

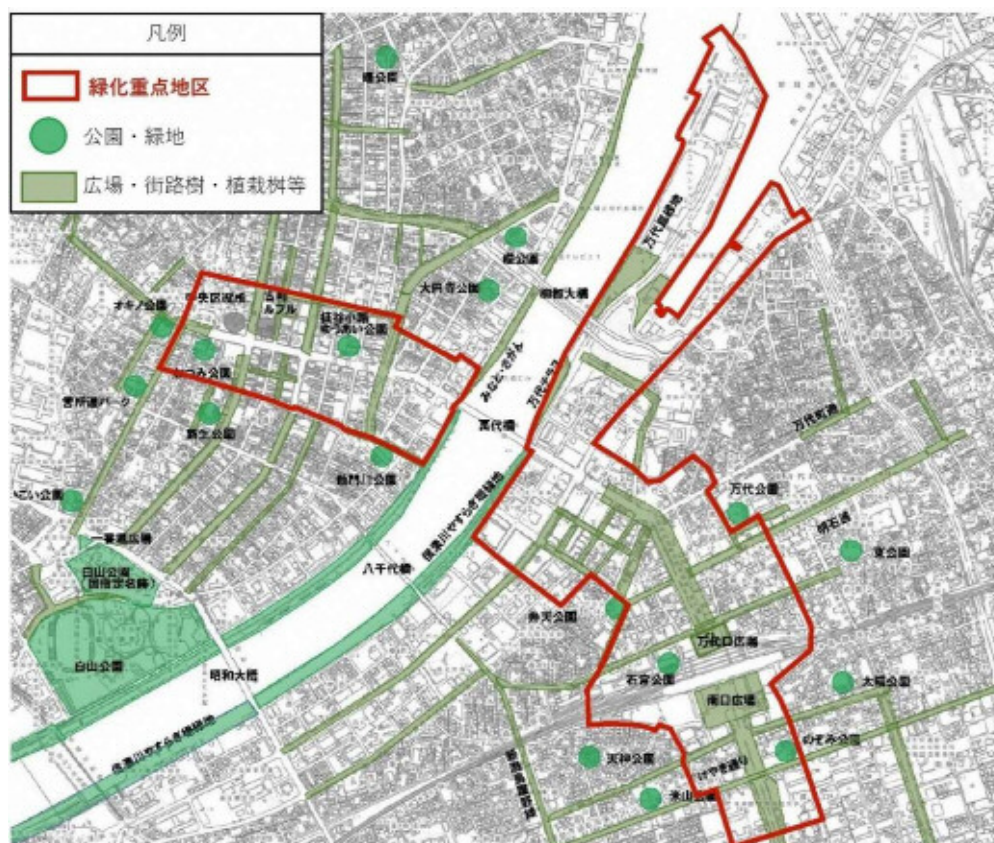
また、令和3年9月の都市再生緊急整備地域指定による、再開発事業やビルの建て替え促進に加え、新潟駅周辺のリニューアルや、東大通の道路空間再構築に向けた動きなど、都心部は大きく変わろうとしています。

この契機を捉え、まだまだ緑の少ない都心部において、多くの人の目に触れる、質の高い緑を増やしていくため、「新潟都心地域緑化重点地区」を指定するとともに、民有地における緑化への助成制度を設けるなど、「緑あふれ、人・モノ・情報が行き交う活力あるエリア」の創造に向けた取組を進めています。

### 「新潟都心地域緑化重点地区」とは

道路や公園といった公有地だけでなく、民有地においても緑化を推進し、緑の創出・保全・協働による維持管理を重点的に推進することを目的として、令和4年7月に都市再生緊急整備地域を「新潟都心地域緑化重点地区」に指定しました。

新潟都心地域緑化重点地区においては、行政をはじめ、市民や事業者などの多様な主体が総合的に緑化に取り組むことにより、緑豊かな都市空間の実現を目指します。



## (2) まちなかの緑が目指す姿

- 街路樹など、歩道の植栽に加えて、民有地の空地や建築物の壁面、屋上を活用した植栽など、限られた空間を最大限に活かした緑化を進めることで、大小様々な緑がつながる、歩きたくなるまちを形づくりします。
- 緑がつくる心地よい木陰や、安らぎを感じられる潤いのある景観が、快適で居心地の良い空間を創出します。
- 四季に応じて移り変わる多様な植栽が、新潟市の顔である都心部の景観を彩ります。



緑がつながり、うるおいを感じるまちのイメージ

### まちなかの緑の効果

まちなかの緑は、美しい都市景観を演出するだけでなく、ヒートアイランド現象の緩和、大気汚染の防止、防風、防塵など、都市環境を緩和・改善する効果があり、快適で安らぎのあるまちづくりにおいて重要な役割を担っています。

また、建築物の周辺を緑化することで、紫外線や酸性雨からの建築物の保護や、断熱による省エネルギー効果に加えて、イメージアップや集客力の向上など、多様な効果が期待されます。





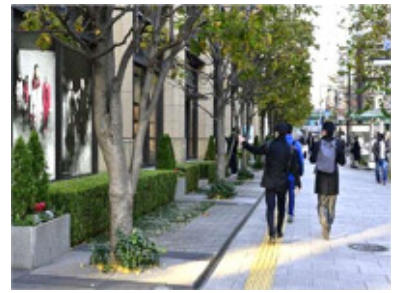
## 2. 緑を取り入れる方法

### (1) 目に入る緑を配置する

緑あふれる都市景観形成のためには、多くの人の目に入りやすい場所を優先的に緑化することが大切です。目に入る緑を増やすことを意識して植栽を配置すると、見る人に安らぎを与える魅力的な都市空間につながります。

#### 道路に面した場所を緑化する

- 多くの人の目に触れやすい道路に面した場所を重点的に緑化しましょう。
- 建築物の入口周辺を緑化すると、通行人だけでなく、ビル利用者へのイメージアップも期待できます。



#### 地上の空間を立体的に使って緑化する

- 高木、中木、低木、地被植物など、高さの異なる植物を組み合わせると、立体感が増し、存在感のある植栽となります。
- 緑化できるスペースが小さくても、プランターを活用し、草花や低木などを取り入れると、人の目に入りやすい緑を手軽に増やすことができます。



#### 壁面を緑化する

- 建築物の壁面を緑化すると、敷地に空地が少ない場合でも、立体的で人の目に入りやすい緑を増やせます。
- 壁面緑化には様々な手法があり、つる性植物だけでなく、プランターやポットを壁面に設置し、彩り豊かな草花を植えるなど、デザイン性の高い植栽も可能です。



#### 屋上を緑化する

- 建て替えなどの際には、屋上やペデストリアンデッキ等を緑化すると、豊富な緑を取り入れることができます。
- まちなかを歩く人から見えるように配置された空中の緑は、印象的なランドマークとしても機能します。



## (2) 緑化の方法とポイント

民有地の様々な場所を活用した緑化の方法とポイントをご紹介します。

1) 小さなスペースを使った緑がまちを華やかに	
<b>【主な緑化の方法】プランター植栽</b> ・ 空地が少ない場所で、手軽に緑を取り入れる	p. 5



2) 壁面緑化で建築物をまちのシンボルに	
<b>【主な緑化の方法】壁面緑化</b> ・ 空地が少ない場所で、立体的で目に入りやすい緑を取り入れる	p. 7



3) 心地よい木陰や花壇が、居心地の良いまちをつくる	
<b>【主な緑化の方法】地上緑化</b> ・ 空地が比較的大きい場所で、立体的で存在感のある樹木や花壇の緑を取り入れる	p. 9



4) 屋上緑化で緑の空間を生み出す	
<b>【主な緑化の方法】屋上緑化</b> ・ 建物に豊富な緑を取り入れる	p.11



### 「民有地緑化助成制度」をご活用ください

本市の助成事業である「民有地緑化助成制度」では、主に新潟都心地域緑化重点地区内で、民有地の敷地や建築物を緑化する際の費用を助成します。

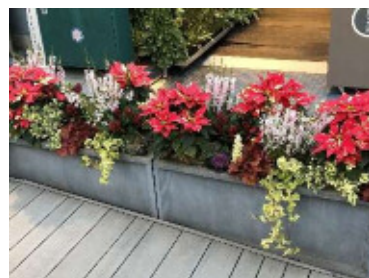
面する道路から容易に見ることができるなど、まちなかを訪れた人の目に入るような緑の整備が対象となります。詳しくは、p.15 市の助成制度・支援制度 をご覧ください。

## 1) 小さなスペースを使った緑がまちを華やかに（プランター植栽）

- 緑化できるスペースが小さい場所でも、プランターを活用することで、手軽に緑を増やすことができます。
- 建築物の入り口の周辺などに、彩り豊かな草花や低木を組み合わせると、通行人だけでなく、ビルの利用者にとっても、イメージアップが期待できます。



容量 100ℓ のプランター(0.8m×0.4m×0.4m)×2 基設置のイメージ



容量 60ℓ のプランター(0.5m×0.4m×0.4m)×2 基設置のイメージ

### 植物の例

- 【低木】 コニファー類、オリーブ、コルジリネ、ローズマリー
- 【地被】 ツワブキ、ヤブラン、ハツユキカズラ、ゴシキカズラ
- 【1年草】 ジニア、ペゴニア、パンジー、ビオラ
- 【宿根草】 ヘリオプシス、エキナセア、アスター、グラス類、ヘレニウム
- 【球根】 チューリップ、クロッカス、ムスカリ、アネモネ、アリウム



## プランター植栽のポイント

### 多年草、宿根草、球根植物などを組み合わせる

---

- ◆ 開花の時期を考慮しながら多様な草花を混ぜて植栽することで、四季折々の表情を見せる魅力的な植栽となります。
- ◆ 一年草だけでなく、多年草、宿根草、球根などを取り入れると、植え替えなどの維持管理の手間を軽減しつつ、美しい花々を楽しむことができます。



### 樹木を取り入れる

---

- ◆ プランターなどの小規模な緑化でも、低木などの樹木を取り入れて高さを出すことで、立体感のある植栽ができます。
- ◆ 樹木とあわせて、草花を植栽すると、より華やかな植栽となります。



### 大型のプランターを使用する

---

- ◆ 小さなプランターでは、強風時などに倒れるなどして、歩行者に危害を及ぼす恐れがあります。プランターで植栽する場合は、できるだけ容量が大きく、構造のしっかりした、簡単に動かないものを使用しましょう。
- ◆ プランターも景観の一部となりますので、建築物や植栽の雰囲気と合わせて、素材や形状を選びましょう。



### 植栽する場所に合わせて植物を選ぶ

---

- ◆ 植栽する場所の日照、降水、風、気温などの気象条件に耐性のある植物を選べると、美しい植栽が長続きして、維持管理の手間も抑えられます。
- ◆ 建築物との位置関係等によって、同じ敷地であっても日当たりや風など、条件が異なる場合もありますので、植栽の計画を立てる前に、しっかり状況を確認しましょう。

## 2) 壁面緑化で建築物をまちのシンボルに

- 建築物の壁面を活用した緑化は、敷地に空地が少ない場合でも、立体的で目に入りやすい緑を増やせます。
- 様々な手法があり、彩り豊かな草花を使用したデザイン性の高い植栽も可能です。



ワイヤーに誘引する壁面緑化(10m×2m)のイメージ



### 植物の例

ヘデラ類、スイカズラ、テイ  
カカズラ、クレマチス

### 植物の例

ハツユキカズラ、ノシラン、  
ツワブキ、フィリヤブラン、  
フィリフェラオーレア、  
シダ類



カセット式の資材を使った壁面緑化(3m×3m)のイメージ



## 壁面緑化のポイント

### 場所や目的に合わせて基盤を選ぶ

- ◆ 壁面緑化は、つる性植物をワイヤーなどの誘引資材で這わせるタイプのほか、シートやマット状の基盤、ポットを植え込む基盤、プランター等を壁面に取り付けるタイプなど、様々な手法があります。
- ◆ つる性植物を使用するタイプは、窓際に設置することで、建築物の温度上昇を抑えるグリーンカーテンとしての効果が期待できます。
- ◆ 基盤を壁面に取り付けるタイプは、多様な植物を使ったデザイン性の高い植栽が可能で、施設のロゴなどをあわせると印象的なサインとなります。



登はん型（つる性植物）



基盤型



プランター型

### 維持管理を考えて基盤を整備する

- ◆ 壁面緑化は日照や風の影響により乾燥しやすいため、定期的な水やりが大切です。自動灌水装置やしみだしパイプ等を整備すると、水やりの手間が抑えられます。
- ◆ ツル植物を使用した壁面緑化では、覆いたい面積に合わせて、生育に必要な土壌量を確保しましょう。

### 壁面緑化先進事例のご紹介

#### グリーンラジエーター®（横浜野村ビル）

- ・両面を緑化できる縦型緑化ルーバーを、壁面と垂直に自立させたシステムです。
- ・緑化面の間を通過する空気が蒸発散効果を受けることでクールスポットを創出します。
- ・在来種を主体に植栽することで、都市の中で希少な在来種を保全し、自然が持つ清涼感や季節の移ろいを感じ取れるデザインとなっています。



(公財)都市緑化機構 主催  
第17回 屋上・壁面緑化技術コンクール  
都市緑化機構会長賞 受賞



### 3) 心地よい木陰や花壇が、居心地の良いまちをつくる

- 四季折々に変化する花壇は、まちに彩りを加え、建築物に柔らかい印象を与えます。
- 樹木を取り入れた植栽が木陰をつくり、快適で居心地の良いまちをつくれます。



W15m × D1.2 = 18 m<sup>2</sup>での地上緑化のイメージ



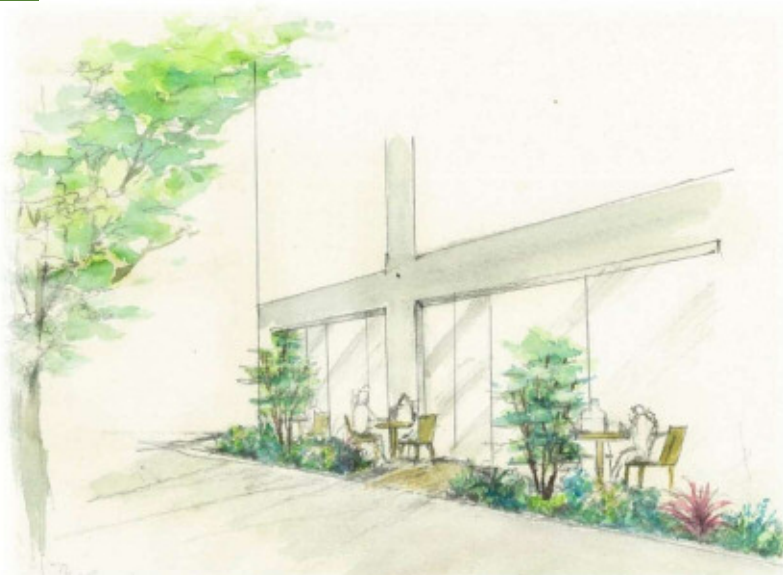
#### 植物の例

【高木】ソヨゴ、ヤマボウシ  
【下草】ペチュニア、ジニア、  
ベゴニア、アガパンサス、  
ツワブキ



#### 植物の例

【高木】エゴノキ、ライラック  
【低木】アナベル、アベリア、  
フォッサギラ、スキミア  
【下草】ニューサイラン、  
コルジリネ、グラス類、  
クリスマスローズ



W10m × D1.2 = 12 m<sup>2</sup>での地上緑化のイメージ

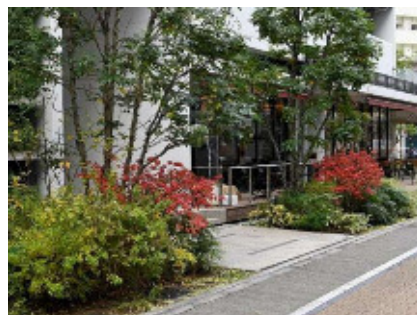
樹木にイルミネーションを装飾すると夜も楽しめる景観となります



## 地上緑化のポイント

### 立体的に緑化する

- ◆ 高木、中木、低木、地被植物など、高さの異なる植物を組み合わせると、立体的で存在感のある緑となります。
- ◆ 高木を植えると木陰ができ、快適な歩行空間や、憩いの場の形成に繋がるほか、人の目を引くシンボルツリーとなります。



### 彩り豊かな花壇を設ける

- ◆ 道路に面した部分に花壇を整備して、多様な草花を組み合わせると、建築物が華やかで柔らかな印象になります。
- ◆ 開花の時期や草花の色合いを考えながら、年間の植栽計画を立てましょう。



### 樹形や四季の演出を考慮して植物を選ぶ

- ◆ 樹種によって、枝葉の広がり異なるため、植栽する場所にあった樹形となる種類を取り入れましょう。
- ◆ 花が咲いたり、紅葉する植物を取り入れると、季節を感じる魅力的な植栽となります。



### 在来種を取り入れた先進事例のご紹介

#### JR 熊本駅ビル

(公財)都市緑化機構 主催  
第21回 屋上・壁面緑化技術コンクール  
国土交通大臣賞 受賞

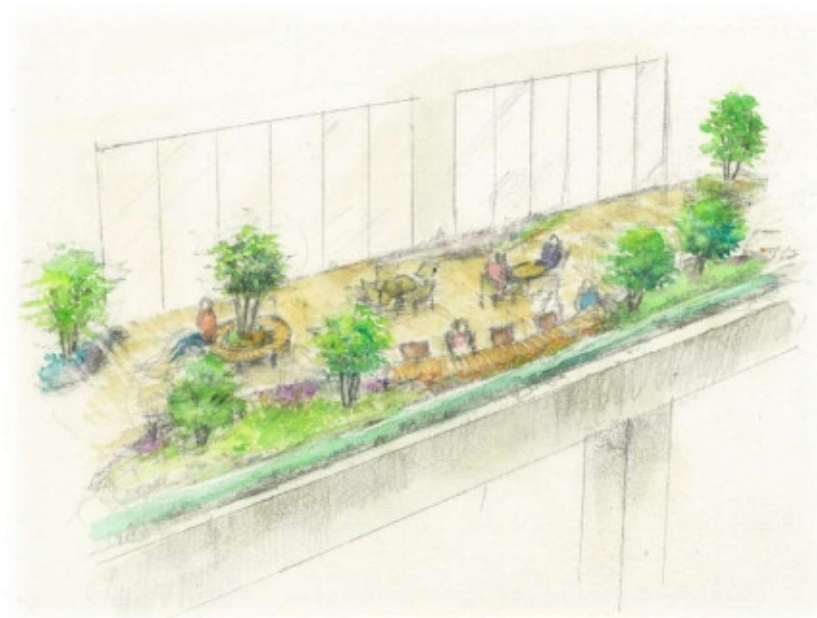
- ・ 商業ビルのパブリックスペースに、高さ約30mの壁面緑化と階層状の屋内緑化による「水と緑の立体庭園」を整備しています。
- ・ 照度育成試験を踏まえて、熊本の山の中に自生している在来種を積極的に活用し、阿蘇地方特有の自然の要素を取り入れています。





#### 4) 屋上緑化で緑あふれる空間を生み出す

- 歩道から見える屋上緑化は、まちの緑を立体的に演出します。
- 人の関心や滞留が生まれ、拠点性ある憩いの場の形成に繋がります。



40 m<sup>2</sup>での屋上緑化のイメージ



花壇や樹木の周囲にベンチを配置すると、ゆっくりくつろげる憩いの場となります



40 m<sup>2</sup>での屋上緑化のイメージ

##### 植物の例

【高木】 エゴノキ、ヤマボウシ、ジュンベリー、スモークツリー、セイヨウニンジンボク

【中低木】 アメリカテマリシモツケ、アナベル、フォッサギラ、スキミア

【宿根草】 エキナセア、セントランサス、カラミンサ、ユーフォルビアウルフェニー、グラス類



## 屋上緑化のポイント

### 地上から見えるように緑を配置する

- ◆ 歩行者の目線を意識して、地上からの緑の見え方をイメージしながら緑の配置を考えましょう。
- ◆ 人が立ち入ることができる屋上緑化だけでなく、小規模なバルコニーでの緑化も、地上からの人の目に入る緑を増やすことにつながります。



### 屋上の環境にあわせて植物を選ぶ

- ◆ 使用する植物は、風で枝が折れたり、倒れたりしやすいもの、乾燥に弱いものは避けましょう。
- ◆ ベンチや通路、地上など、様々な視点からの見え方をイメージしながら、屋上の環境条件に適した多様な植物を植栽しましょう。

### 屋上緑化を行う際の注意点

- ◆ 屋上緑化では、積載荷重に注意することが必要です。建築基準法に則り、建築物の安全性を確保した上で緑化しましょう。建築物の建て替えなどに伴い屋上緑化を行う場合は、中高木等の長期の植栽に耐えられるような荷重や耐用年数の建築構造にすることで、本格的な緑化が可能となります。
- ◆ 屋上緑化では、荷重を軽くするため、軽量土壌を使用する場合があります。地被植物やマルチング材で土壌を覆い、軽量土壌が飛散するのを防ぎましょう。マルチング材は乾燥や雑草の対策にも有効です。

### 県産材の木製品はいかがでしょうか

花壇やプランター等の植栽基盤は、コンクリート製や樹脂製、木製など、緑化する場所に合わせて素材を選ぶことができます。特に木製素材においては、県産材を使用することで、新潟県の森林を守り、循環型社会やカーボンニュートラルへの貢献に繋がるなど、景観面だけでなく様々な効果が期待されることから、緑化の際はご検討ください。



写真

写真

### (3) 美しい緑を保つために

素敵な植栽を整備しても、維持管理をしないと美しい緑は継続しません。緑化を行う前にしっかりと維持管理の計画を立てて、整備後はこまめに植物の状態を確認しましょう。

#### ■水やり 適宜（特に夏場は乾燥に注意）

- ・ 土壌が少ないプランターや、日照や風の影響を受けやすい壁面緑化、屋上緑化は乾燥しやすいため、こまめに水やりするよう心がけましょう。
- ・ 樹木についても、植栽した直後のほか、乾燥が続く夏季などは雨水だけでは水分が不足する場合があるため、定期的に植物の状態を確認し、適宜水やりをしましょう。
- ・ 水分を感知するセンサーを搭載した自動灌水装置を整備すると、水やりの手間を抑えることができます。

#### ■除草 適宜

- ・ 雑草が繁茂すると、景観を損なうだけでなく、植えた植物の生育にも悪影響を及ぼすため、こまめに除草を行いましょう。
- ・ 根ごと抜き取ることで、再度の発生が抑制されます。

#### ■草花等の植え替え 年2回程度

- ・ 花期を過ぎて枯れたり、傷んだりしたものは植え替えを行い、できるだけ花を絶やさず、美しい植栽を維持しましょう。
- ・ 一年草は概ね春と秋に植え替えが生じますので、あらかじめ植え替えの計画を立てましょう。
- ・ 花がら摘みを行ってしおれた花を取り除くと、開花が長続きします。

#### ■施肥 生育に応じて年1～3回程度

- ・ 施肥は、植物の健全な生育、開花や結実の促進、抵抗力の増進等を目的に行います。
- ・ 植物の生育などにあわせて、適宜行いましょう。
- ・ 植栽時や休眠期（12～2月頃）に行う元肥では、遅効性の肥料が適しており、植物の生育に応じて必要な養分を補う追肥では、速効性の肥料や葉面散布肥料が適しています。

## ■その他

- ・樹木の剪定は、樹形を美しく整えるだけでなく、通風や採光を良くして病害虫を防いだり、開花や結実を促進したりしますので、目的にあわせて行いましょう。
- ・枯れた枝や、樹形を乱す枝、通風や採光を妨げる枝などから剪定し、樹種ごとの自然の樹形を残しながら整えましょう。
- ・樹木の剪定は、専門的技術を要する場合があります。自ら行うことが難しい場合は専門家に相談しましょう。
- ・病虫害は、植物を枯損させるだけでなく、周囲の人や植物にまで被害が及ぶ場合もあります。病虫害の被害を発見した場合は、対処方法を専門家に相談しましょう。

### 緑化に関する相談を受け付けています

#### 「花育マスター」紹介制度

新潟市では、学校、職場、市民団体などからの花育活動の相談に応じて、花や植物のスペシャリストとして登録いただいている「新潟市花育マスター」を、講師やインストラクターとして紹介しています。花や植物に関する活動の指導者をお探しの方は、お気軽にお問い合わせください。

[お問い合わせ] 新潟市 農林水産部 食と花の推進課 TEL：025-226-1792

QR

#### 園芸相談（新潟市 食育・花育センター）

園芸に関するご質問、ご相談を受け付けています。植物の病気や害虫の防除方法、用土の配合など、お気軽にご相談ください。

[時間] 午前9時～午後5時（食育・花育センター休館日及び火曜日、年末年始12/29～1/3は休み）

[来館でのご相談] 食育・花育センター1階「園芸相談コーナー」へお越しください。

〒950-0933 新潟市中央区清五郎401番地

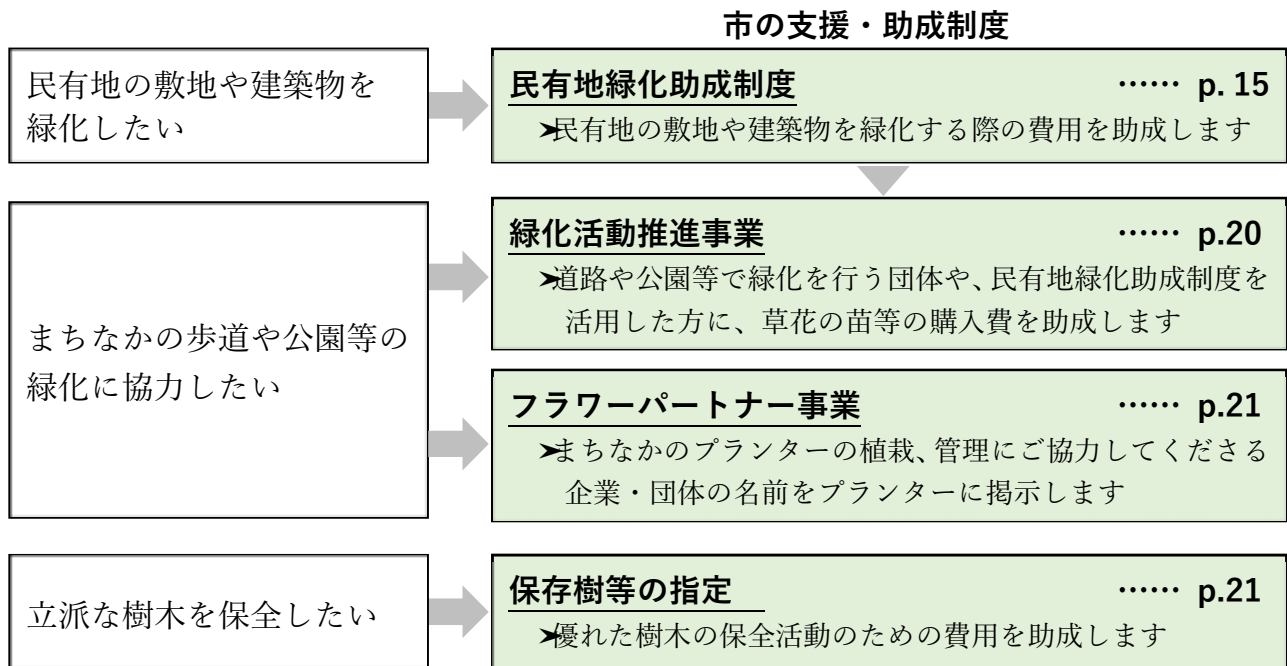
[電話でのご相談] TEL：025-282-4187

Mail：engeisoudan@ikutopia.com

QR



### 3. 市の助成・支援制度



#### (1) 民有地緑化助成制度

##### ■概要

- 都心部の緑の創出のため、民有地の敷地や建築物を緑化する際の費用を助成します。

対象区域	新潟都心地域緑化重点地区内、又はその外縁に接している敷地
対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地、建築物の所有者又は管理者</li> <li>・ 敷地、建築物の所有者又は管理者から承諾を得た方</li> </ul>
主な助成条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民有地における地上緑化、壁面緑化、屋上緑化が対象</li> <li>・ 敷地、建築物が面する道路から容易に見ることができること、または一般の人が自由に立ち入ることができる場所を緑化すること</li> <li>・ 5 ㎡以上を緑化すること (50 ℓ 以上のプランターのみを使用する場合は、2 基以上から対象)</li> <li>・ 整備後 5 年間は適切な維持管理を実施すること</li> </ul>
助成金額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助成率：2/3～1/3</li> <li>・ 上限額：地上緑化 100 万円、壁面緑化 200 万円、屋上緑化 200 万円</li> </ul>
助成対象経費	植栽費、植栽基盤整備費、灌水施設整備費、表示板の設置費

詳しくは、申請の前に新潟市土木部みどりの政策課までご相談ください

## ■対象区域

- 新潟都心地域緑化重点地区内、又はその外縁に接している敷地。

地区の範囲は p.1 をご参照ください

## ■対象者

- 敷地、建築物の所有者又は管理者。
- 敷地、建築物の所有者又は管理者から承諾を得た方。
- ✕ 下記の方は対象となりません。
  - ・ 国又は地方公共団体及びこれに準ずる団体。
  - ・ 市税を滞納している者。
  - ・ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に規定する暴力団員または暴力団関係事業者。
  - ・ その他、特に適当でないと市長が認める者。

## ■助成対象となる緑化

- 民有地における地上緑化、壁面緑化、屋上緑化が対象です。
- 申請した年度内に工事が完了するものが対象となります。

既存の緑化施設の  
再整備も対象です

- ✕ 下記は対象となりません。
  - ・ 本事業又は本事業以外の緑化に関する助成等を受けて整備した緑化施設の再整備。
  - ・ 建築基準法や、その他の法令、条例等に違反しているもの。

## ■助成金額

- 助成の上限額および助成率は下表のとおりです

緑化方法	上限額	助成率
地上緑化	100 万円	新たに植栽基盤を整備する場合：2/3 既存の植栽基盤を使用する場合：1/3
壁面緑化	200 万円	
屋上緑化	200 万円	

※助成金額に千円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てます。

- 同一の敷地で、複数の緑化方法で助成を受ける場合は、緑化方法ごとに上限額を適応した上で、最大 500 万円まで助成を受けることができます。
- 本事業の交付を受けたことがある敷地においては、各緑化方法の上限額から、前年度までに交付を受けた額を控除した額を上限額とします。

たとえば…

壁面緑化で 100 万円の交付を受けた敷地の場合

次年度以降の上限額は次のとおり

- ・ 地上緑化：100 万円
- ・ 壁面緑化：100 万円
- ・ 屋上緑化：200 万円

-100  
万円

## ■助成対象経費

- 以下の購入費及び施工費を対象とします。

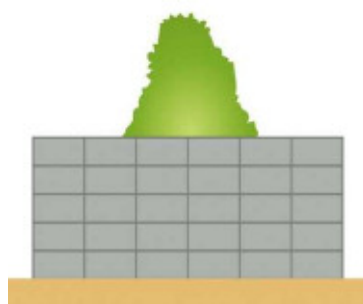
分類	内容
①植栽費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植物（樹木、花苗）</li> <li>・ 土、肥料、土壌改良材</li> <li>・ 支柱、マルチング材、防草シート、土留め材 等</li> </ul>
②植栽基盤整備費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 植栽ます、花壇</li> <li>・ プランター（容量が 50ℓ 以上で容易に動かせないもの）</li> <li>・ 壁面緑化用植栽基盤及び誘引資材 等</li> </ul>
③灌水施設整備費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 散水栓、給水管</li> <li>・ スプリンクラー</li> <li>・ 灌水チューブ 等</li> </ul>
④表示板の設置費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本助成制度を利用したことを示す表示板</li> </ul>

- ✕ 下記は対象となりません。

- ・ 既存構造物のほか、土や草木の移植費、撤去費。
- ・ ベンチ、テーブル、照明器具などの修景施設。
- ・ 維持管理の範疇と判断されるもの。

## ■公開性

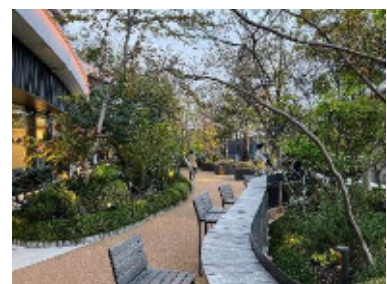
- 構造物で植栽が隠れておらず、敷地、建築物が面する道路から容易に見ることができる、または、一般の人が自由に立ち入ることができる場所を緑化すること。



✕ ブロック塀やフェンス等の構造物で植栽が隠れている



○ 道路から容易に見ることができる

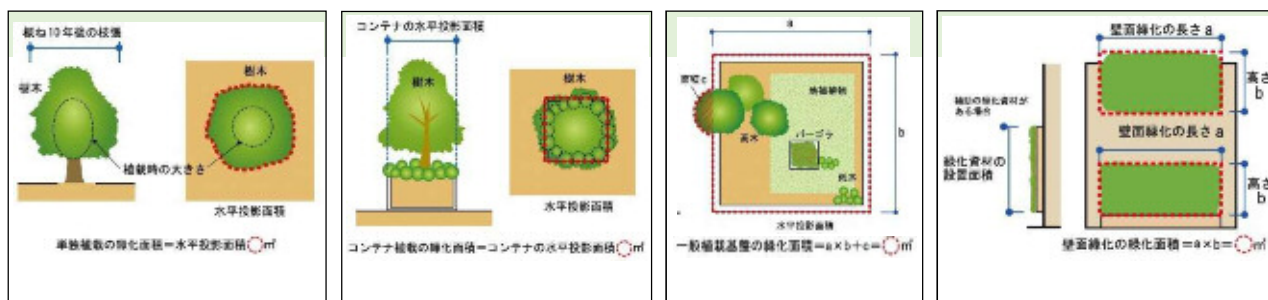


○ 一般の人が自由に立ち入ることができる



## ■最低緑化面積

- 緑化面積が 5 m<sup>2</sup> 以上であること。※地上緑化、壁面緑化、屋上緑化の面積の合計です。
- プランターは、1 個あたり 50 ℓ 以上かつ容易に移動できないものを用いること。
- ただし植栽基盤としてプランターのみを使用する場合は、1 個あたり 50 ℓ 以上かつ 2 基以上で対象となります。



緑化面積の算定基準の詳細は、新潟市公共施設緑化ガイドラインをご参照ください

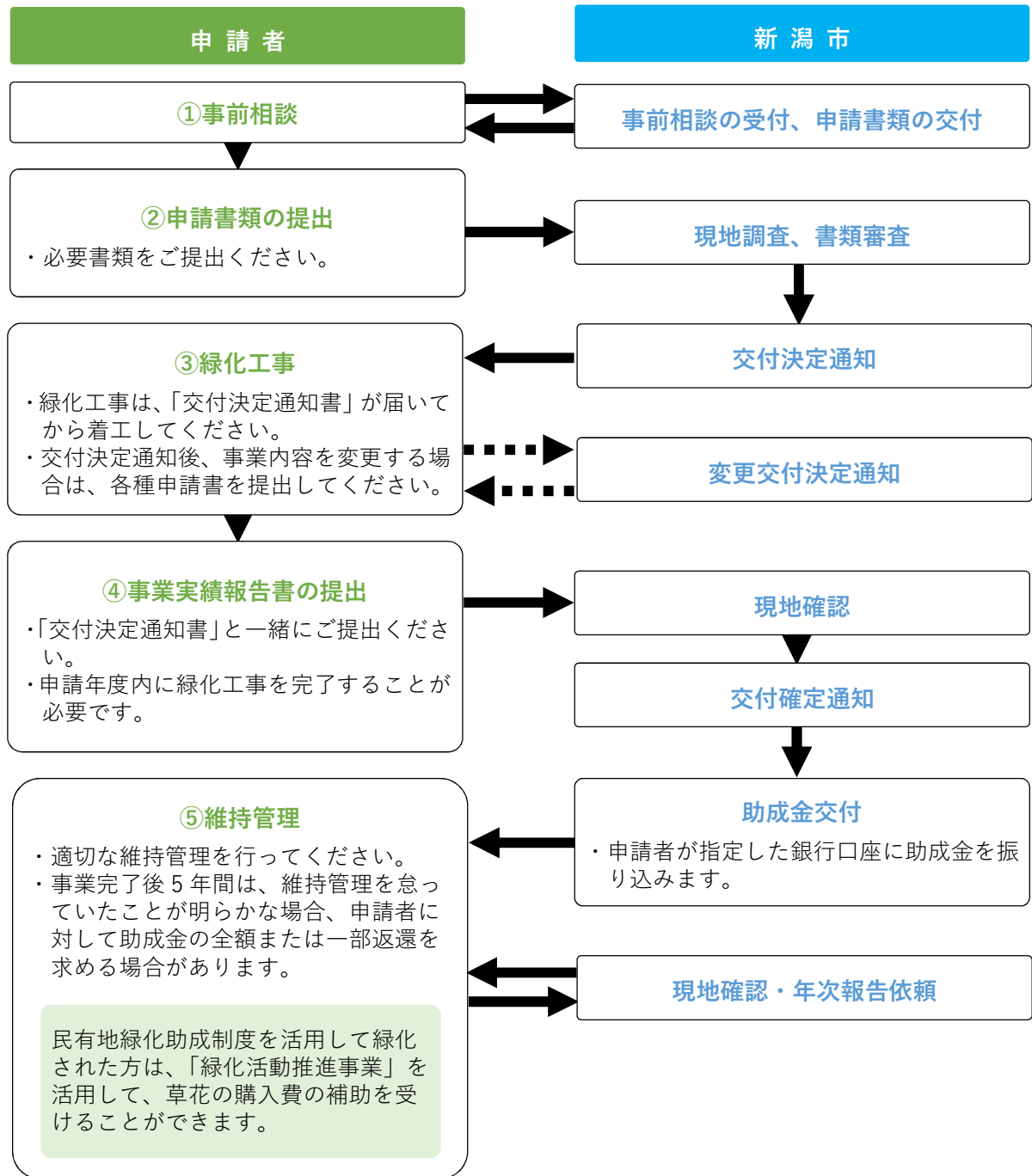
## ■維持管理義務

- 事業完了後 5 年間は適切な維持管理を実施するとともに、それ以降も適切な維持管理に努めること。
- 市から要請があった場合には、施工事例の提供や経過報告に協力すること。
- 本制度を利用したことを示す表示板を設置すること。  
※維持管理義務を怠っていたことが明らかな場合、申請者に対して助成金の全額または一部返還を求める場合があります。

### 草花の購入費を補助します

民有地緑化助成制度を活用して緑化を行った方は、整備後 5 年間に限り、「緑化活動推進事業」を活用して、草花の苗等の購入費について補助を受けることができます。美しい植栽の維持管理に、ぜひお役立てください。詳しくは p.20 緑化活動推進事業 をご覧ください。

## ■民有地緑化助成制度の手続きの流れ



問い合わせ先  
(申請書類提出先)

新潟市 土木部 みどりの政策課  
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602番地1  
TEL：025-226-3065 FAX：025-222-7324

QR

## (2) そのほかの支援制度

問い合わせ先

新潟市 土木部 みどりの政策課

〒951-8550 新潟市中央区学校町通 1 番町 602 番地 1

TEL : 025-226-3065 FAX : 025-222-7324

### ■緑化活動推進事業

公園や道路などで緑化活動を行う団体に対し、草花の購入費を補助することで、地域への誇りと愛着のある緑豊かで潤いのあるまちづくりを推進します。



詳細は新潟市  
ホームページを  
ご確認ください。

#### ■対象者

- ・民有地緑化助成制度を活用した人及び団体。(整備後5年間に限る)
- ・自治会、町内会、地域コミュニティ協議会。
- ・その他の営利を目的としない団体。

■補助金額 上限額：5万円、補助率：10/10

■補助対象経費 植栽及び維持管理等を実施する草花の苗、種及び球根の購入費。



### ■フラワーパートナー事業

まちなかのプランターに草花を植栽して管理してくださる、花のまち新潟のパートナーを募集しています。プランターにはパートナー団体の名前が掲示されます。



詳細は新潟市  
ホームページを  
ご確認ください。

#### ■対象地域

- ・中央区万代1丁目（東大通沿線）及び、花園1丁目（新潟駅南口）付近

#### ■対象者

- ・自治会、町内会、地域コミュニティ協議会。
- ・その他営利を目的としない団体。
- ・構成員が複数で、市内に事業所が存在している事業者。



### ■保存樹等の指定

優れた樹木・樹林を保全するため、保存樹等に指定します。

■対象地域 新潟市全域

#### ■保存樹の指定基準

- ・高さや幹周りなどの条件を満たし、健全かつ樹容が美観上すぐれているもの。

#### ■助成内容

- ・報奨金（保存樹）：5,000円／本
- ・松くい虫防除対策費用の補助：樹幹注入 5,000円／本（薬効期間6年以上は15,000円／本）、薬剤散布 5,000円／本、土壌灌注 5,000円／本



詳細は新潟市  
ホームページを  
ご確認ください。

